

**アムロジピン錠 2.5mg 「BMD」**  
**アムロジピン錠 5mg 「BMD」**  
**アムロジピン錠 10mg 「BMD」**

**【この薬は？】**

販売名	アムロジピン錠 2.5mg 「BMD」 Amlodipine Tablets 2.5mg 「BMD」	アムロジピン錠 5mg 「BMD」 Amlodipine Tablets 5mg 「BMD」	アムロジピン錠 10mg 「BMD」 Amlodipine Tablets 10mg 「BMD」
一般名	アムロジピンベシル酸塩 Amlodipine Besilate		
含有量 (1錠中)	アムロジピンベシル 酸塩 3.47mg (アムロ ジピンとして 2.5mg)	アムロジピンベシル 酸塩 6.93mg (アムロ ジピンとして 5mg)	アムロジピンベシル 酸塩 13.87mg (アムロ ジピンとして 10mg)

**患者向医薬品ガイドについて**

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

**【この薬の効果は？】**

- ・ この薬は、カルシウム拮抗剤と呼ばれる薬です。
- ・ この薬は末梢の血管を拡げて血圧を低下させます。また、心臓の血管（冠血管）に働いて、狭心症の発作を予防します。
- ・ 次の病気の人に処方されます。
  - ・ 高血圧症
  - ・ 狭心症

- ・この薬は効果の発現が緩やかであるため、緊急な治療が必要な不安定狭心症には効果が期待できません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
  - ・過去にジヒドロピリジン系化合物（ニフェジピン、ベニジピン塩酸塩、アゼルニジピンなど）で過敏な反応を経験したことのある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
  - ・過度に血圧の低い人
  - ・肝臓に障害のある人
  - ・高齢の人
  - ・腎臓に重篤な障害のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

[成人の場合]

	高血圧症の場合	狭心症の場合
一回量	2.5～5mg*	5mg
飲む回数	1日1回	1日1回

\*1回5mgを服用しても効果不十分な場合には、1回10mgまで増量されることがあります。

[6歳以上の小児の場合]

	高血圧症の場合
一回量	2.5mg*
飲む回数	1日1回

\*6歳以上の小児の場合、1回5mgを超えて投与されません。

### ●どのように飲むか？

- ・コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- ・錠剤を割った場合は早めに飲んでください。割った錠剤は、光を避けて30日以内に使用してください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。  
気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は

1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

ショックを含む著しい血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい）、反射性頻脈（動悸（どうき）など）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業や自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・グレープフルーツジュースはこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


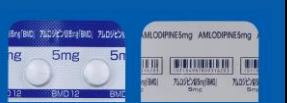




重大な副作用	主な自覚症状
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、判断力の低下
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
白血球減少 はっけつきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
房室ブロック ぼうしつブロック	めまい、胸の痛み、胸の不快感、動悸、気を失う
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、脱力感、発熱

部位	自覚症状
頭部	めまい、考えがまとまらない、意識がなくなる、頭痛、意識の低下
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、のどの痛み、歯ぐきの出血
胸部	吐き気、動悸、胸の痛み、胸の不快感
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色～褐色になる
その他	判断力の低下、気を失う、出血が止まりにくい

## 【この薬の形は？】

販売名	アムロジピン錠 2.5mg 「BMD」	アムロジピン錠 5mg 「BMD」	アムロジピン錠 10mg 「BMD」
PTP シート			
形状	フィルム コーティング錠 	フィルム コーティング錠 (割線入り) 	フィルム コーティング錠 (割線入り) 
直径	約 6.1mm	約 8.1mm	約 8.6mm
厚さ	約 2.9mm	約 3.7mm	約 4.3mm
重さ	105mg	210mg	258mg
色	白色	白色	白色
識別コード	BMD11 (PTP に表示)	BMD12 (PTP に表示)	BMD13 (PTP に表示)

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	アムロジピン錠 2.5mg 「BMD」	アムロジピン錠 5mg 「BMD」	アムロジピン錠 10mg 「BMD」
有効成分	アムロジピンベシル酸塩		
添加物	無水リン酸水素カルシウム、結晶セルロース、デンプングリコール酸ナトリウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ		

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：株式会社バイオメディクス (<http://www.biomedix.co.jp/>)

電話：03-3564-9200

受付時間：9：00～12：00、13：00～17：30

（土、日、祝日を除く）